

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法によっています。

時価のないもの……移動平均法に基づく原価法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券	39,521,088,719	167,719,936	4,148,142,250	35,540,666,405
小 計	39,531,088,719	167,719,936	4,148,142,250	35,550,666,405
特定資産				
助成事業予備基金	1,960,743,650	253,423,091	188,404,591	2,025,762,150
田口福寿会奨学金準備資金	178,200,000	145,800,000	27,000,000	297,000,000
田口福寿会夢奨学金準備資金	48,000,000	126,000,000	3,000,000	171,000,000
田口育英金特別枠準備資金	432,000,000	0	144,000,000	288,000,000
小 計	2,618,943,650	525,223,091	362,404,591	2,781,762,150
合 計	42,150,032,369	692,943,027	4,510,546,841	38,332,428,555

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	—	—
投資有価証券	35,540,666,405	(35,540,527,474)	(138,931)	—
小 計	35,550,666,405	(35,550,527,474)	(138,931)	—
特定資産				
助成事業予備基金	2,025,762,150	—	(2,025,762,150)	—
田口福寿会奨学金準備資金	297,000,000	—	(297,000,000)	—
田口福寿会夢奨学金準備資金	171,000,000	—	(171,000,000)	—
田口育英金特別枠準備資金	288,000,000	—	(288,000,000)	—
小 計	2,781,762,150	—	(2,781,762,150)	—
合 計	38,332,428,555	(35,550,527,474)	(2,781,901,081)	—

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金	812,691,398
基本財産受取利息	1,400
合 計	812,692,798

5. その他

金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託により資産運用します。なお、デリバティブ取引は行わない方針です。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされています。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 財産管理運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の財産管理運用規程に基づき行います。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告します。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告します。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告します。